

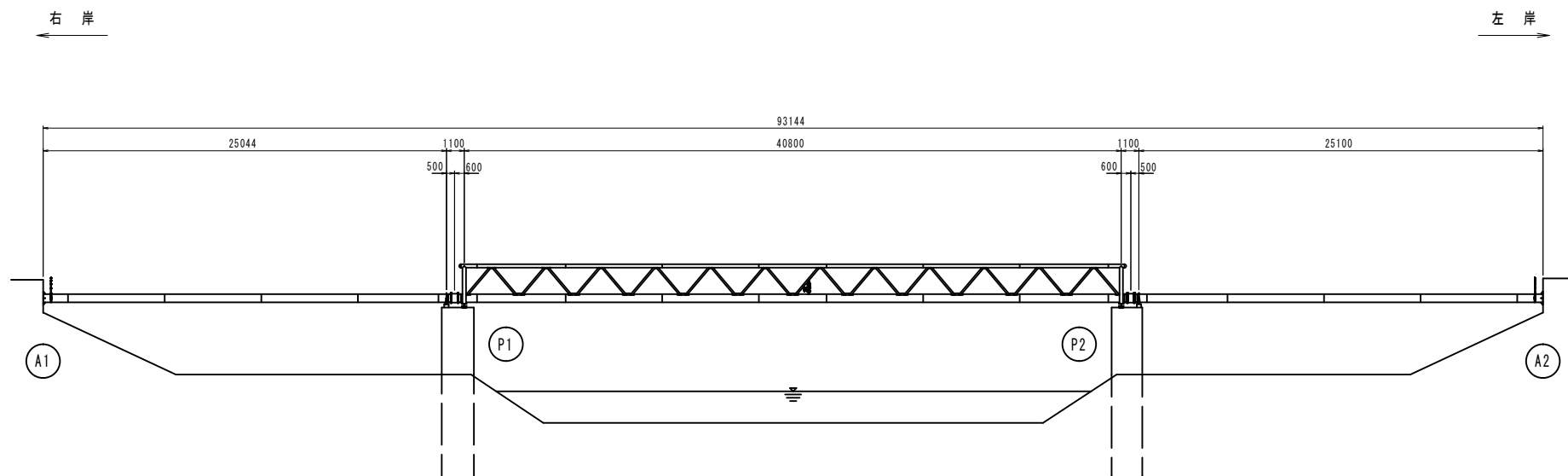


建設工事台帳							管 理 番 号				
							R 8 - そ - 1 3				
年度・科目		令和8年度 第41款 第01項 第01目 第20節 第18細									
工 事 名 称		(そ－13) 水管橋塗装改良（塗替）工事（余フ）									
工 事 場 所		甲府市大里町地内（万才橋）									
請負契約年月日		令和 年 月 日			請負業者名						
契 約 工 期		令和 年 月 日			～		令和 年 月 日				
中止又は延期年月日		令和 年 月 日			～		令和 年 月 日				
検 査 年 月 日		令和 年 月 日		着手	令和 年 月 日		完成	令和 年 月 日			
配管業者名					配管工氏名						
検査員職氏名					印	立会人職氏名			印		
担 当 課 係 名		水道課					配水施設係				
設計者職氏名					印	監 督 者 氏 名			印		
(工事の内容)											
水管橋塗装塗替工 SPφ500 A=280m2											
廃棄管	年度										
	管種										
	口径										
	延長										
	マイクロNo										
(特記事項)											

万才橋水管橋 一般図

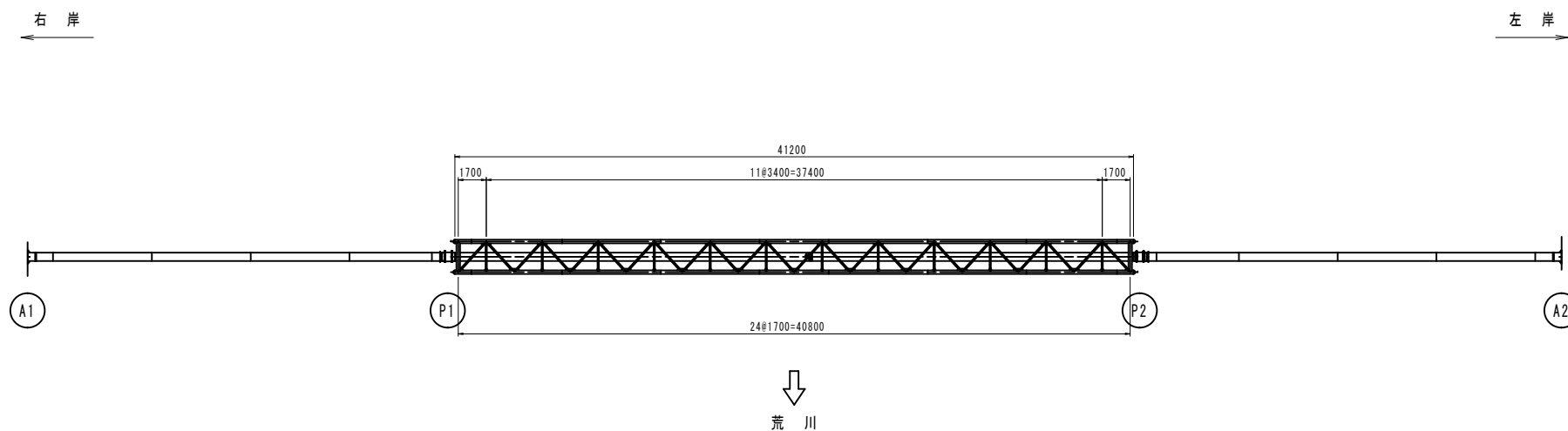
側面図

S=1:200



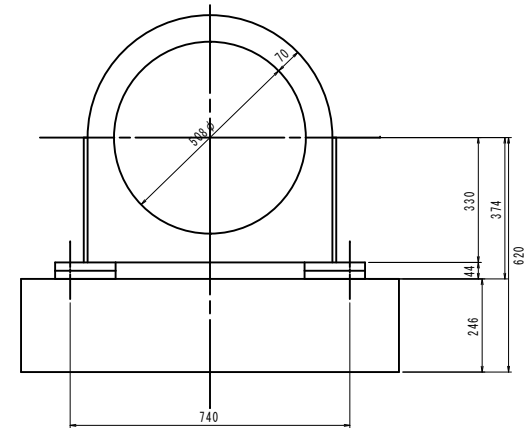
平面図

S=1:60



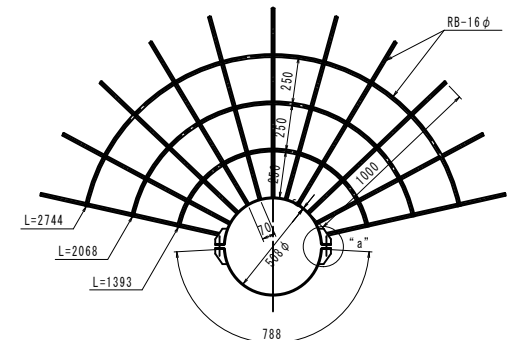
断面図

リングサポート S=1:10



断面図

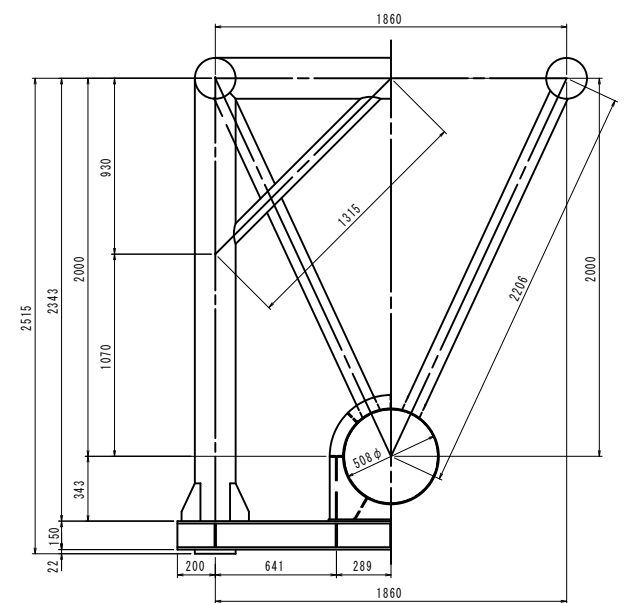
歩行防止柵 S=1:20



断面図

トラス部 S=1:20

三角トラス支点部 三角トラス一般部



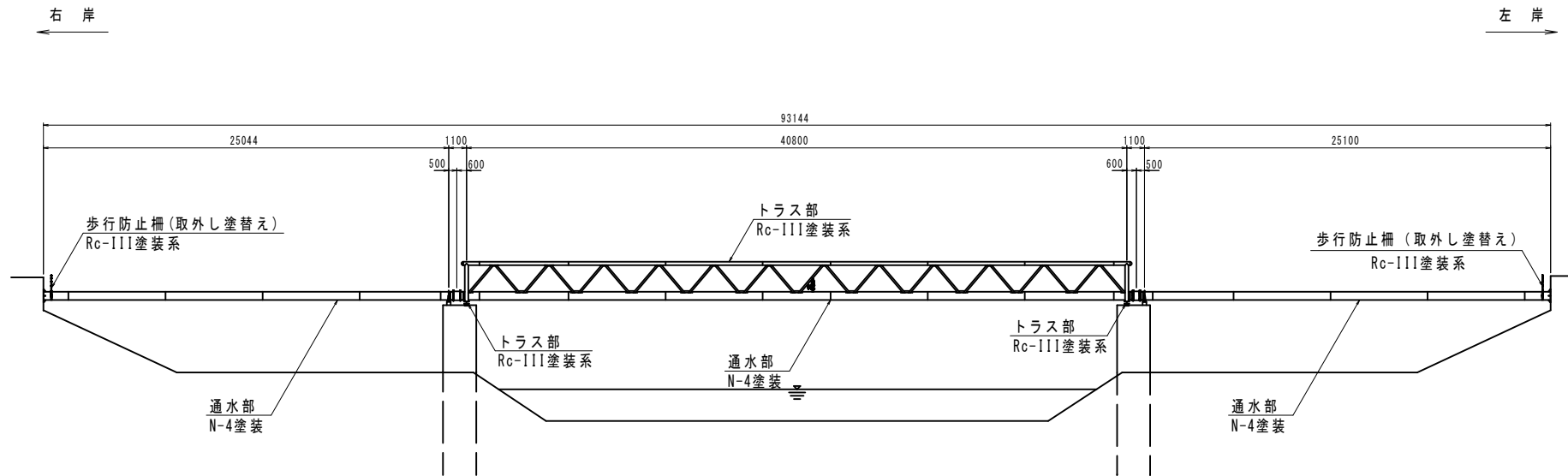
工事件名	(そ-13) 水管橋塗装改良(塗替)工事(余フ)				
工事場所	甲府市大里町地内(万才橋)				
図面名	一般図	縮尺	図示	分割	2/9
甲府市上下水道局	管理番号	R8-そ-13	マイクNo.		

設計条件	
水管橋長	93.200m
口径	500mm
管種	SP(配管用アーク溶接炭素鋼管 STPY41)
管厚	6.0mm~12.7mm
管路用途	配水(配水本管)
構造形式	パイプビーム・トラス
支間数	3
空気弁	双口(口径φ75mm 1基) 補修弁あり
伸縮継手	伸縮量42mm 偏心量5度 右岸側1基 左岸側1基

万才橋水管橋 補修一般図

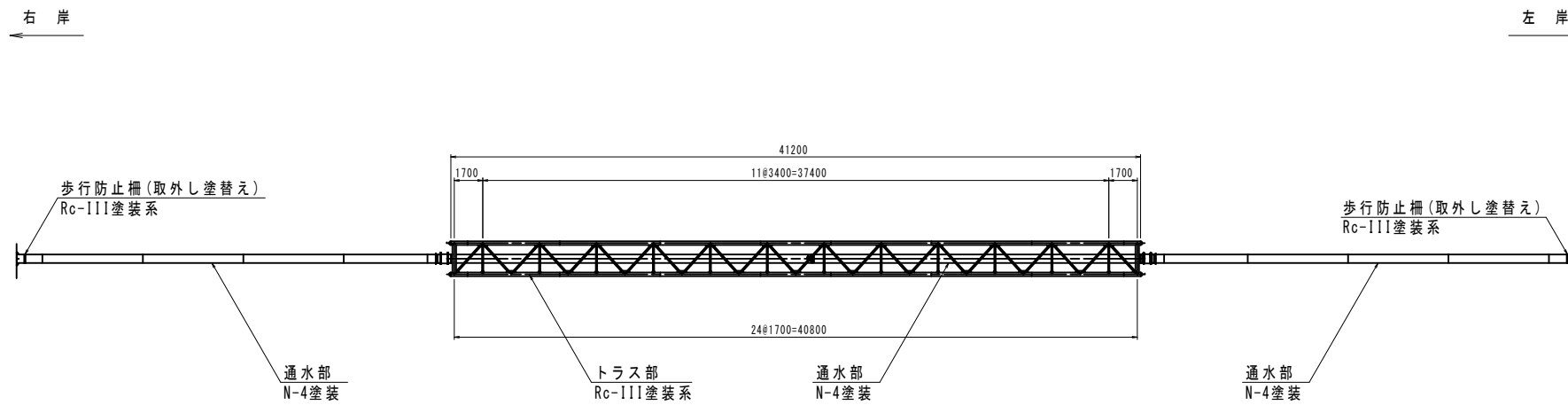
側面図

S=1:20



平面图

S=1:20



施工フロー(案)

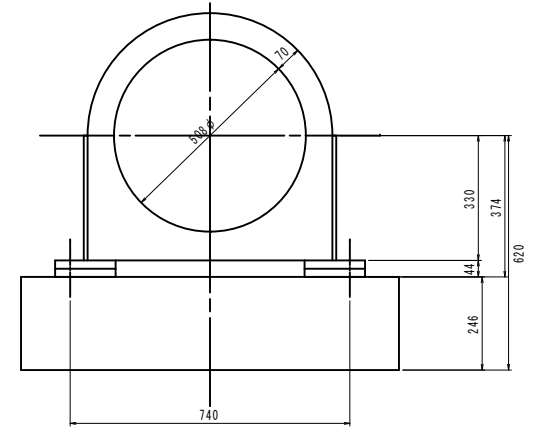
補修項目		
水管橋塗替え(通水部)	N-4	153.49 m2
水管橋塗替え(通水部以外)	Rc-III	128.01 m2

注記)

1)各寸法は点検結果および実測によるもの。施工の際は再度計測し寸法を確認すること

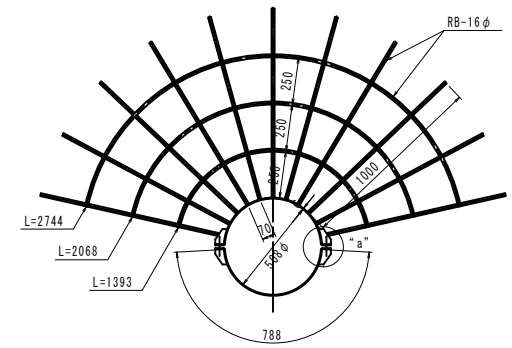
断面図

リングサポート S=1:10



断面图

步行防止柵 S=1:20



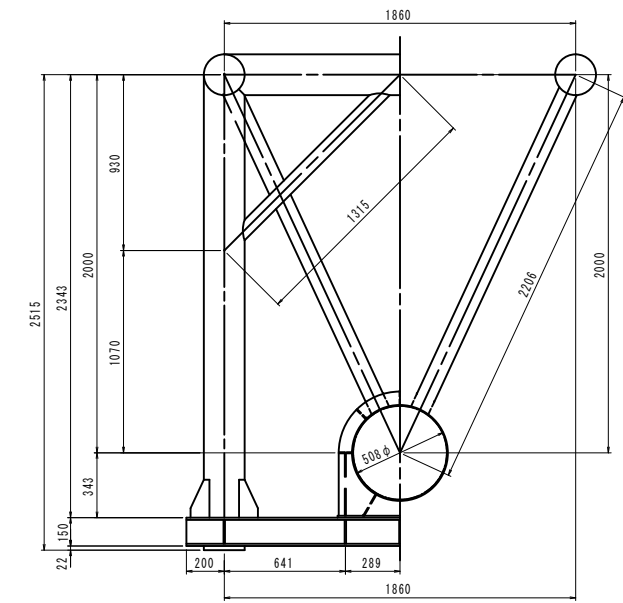
断面图

トラス部 S=1:20

三角トラス支点部

トラス部

三角トラス一般部



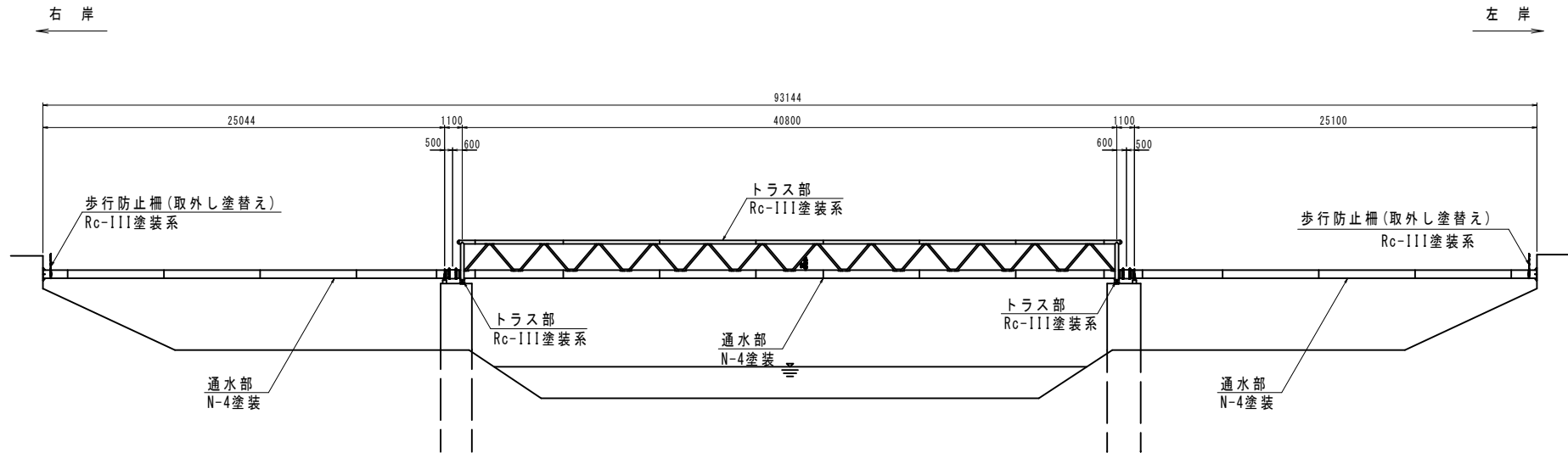
工事件名	(そ-13) 水管橋塗装改良(塗替)工事(余フ)									
工事場所	甲府市大里町地内(万才橋)									
図面名	補修一般図			縮尺	図示	分割	3/9			
甲府市上下水道局	管理番号	R8-そ-13			マイクNo.					

万才橋水管橋 塗替詳細図

(その1)

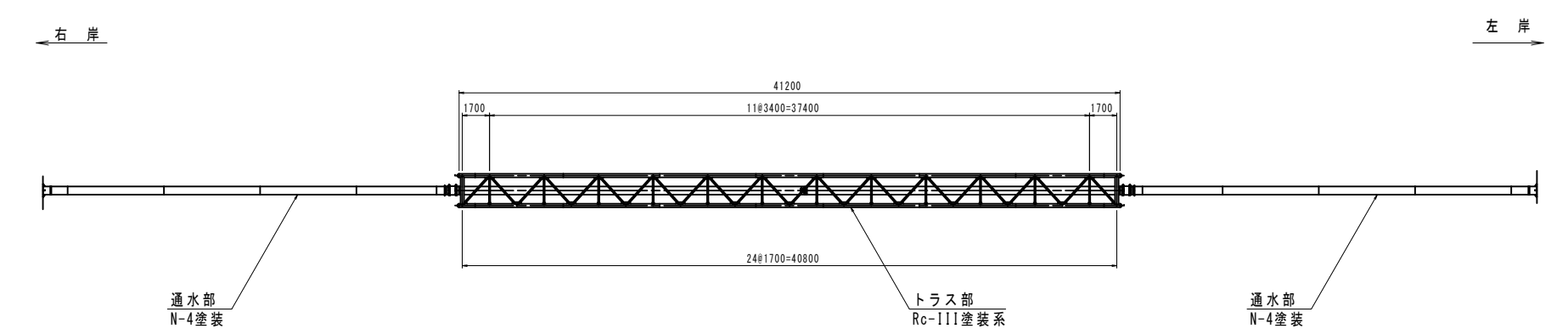
側面図

S=1:200



平面図

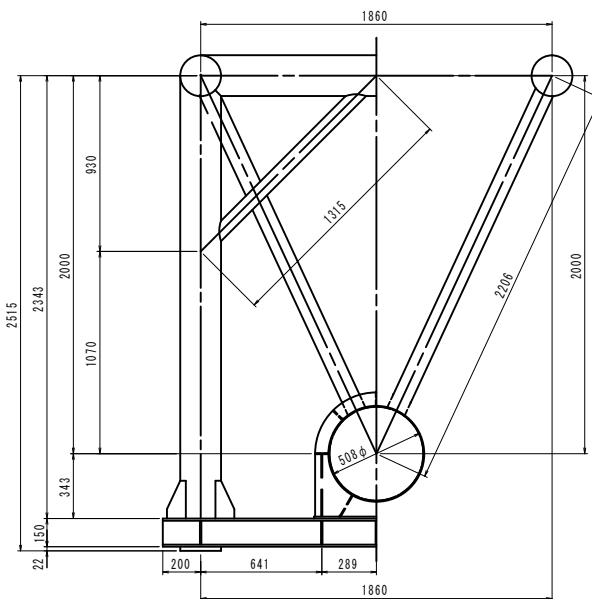
S=1:200



断面図

S=1:20

三角トラス支点部 トラス部 三角トラス一般部



注記)

- 1) 各寸法は点検結果および実測によるもの。施工の際は再度計測し、寸法を確認すること。
- 2) ケレン後、著しい腐食や損傷がみられた場合は、監督員と協議を行い、状況に応じて板厚計測等を行い、適切な補修を行った後に塗装を行うこと。
- 3) 塗装系については、通水部はN-4塗装系とし、通水部以外は、Rc-III塗装系とする。
- 4) 塗膜に鉛が含まれているため、ケレン時に飛散防止対策を行い、ケレンかすは、適切に処分すること。
- 5) 歩行防止柵は、取外しを行いケレン・塗装を行うこと。その際、ボルトの腐食などが確認された場合は、取替えを行うこと。

塗装面積 (N-4)

管 (トラス部)	65.08	m2
管 (トラス部なし)	80.94	m2
リングサポート (通水部)	1.06	m2
リングサポート (トラス部)	1.63	m2
端部材	0.79	m2
空気弁	0.69	m2
ジョイント	3.30	m2
合計	153.49	m2

塗装仕様 N-4

塗装仕様	塗料名	塗装回数	標準使用量 (g/m2/回)	塗装回数	目標膜厚 (μm)	塗装間隔
N-4	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗 又は変性ウレタン樹脂塗料下塗 (JIS K 5551 C種)	4	240	はけ ローラ	240	1日～10日
	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗 (JIS K 5659)	1	160	はけ ローラ	30	
	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗 (JIS K 5659 1級)	1	130	はけ ローラ	25	1日～10日

塗装面積 (Rc-III)

トラス	124.46	m2
歩行防止柵	2.11	m2
鉄道管	1.44	m2
合計	128.01	m2

Rc-III塗装系

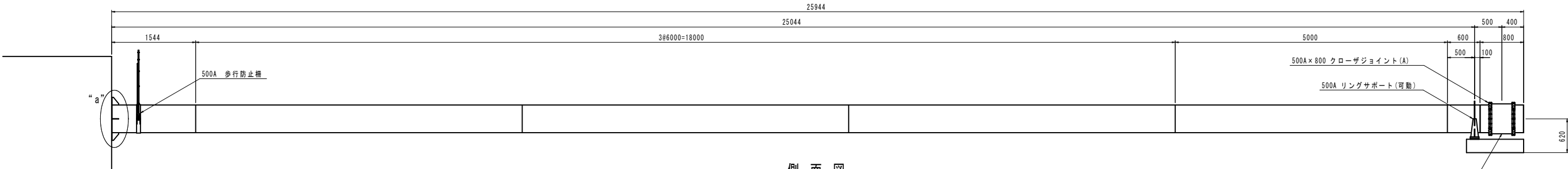
塗装工程	塗料名	使用量 (g/m2)	塗装間隔
素地調整	3 種		4時間以内
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日～10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日～10日
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	140	1日～10日
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	120	1日～10日

万才橋水管橋 塗替え詳細図

(その2)

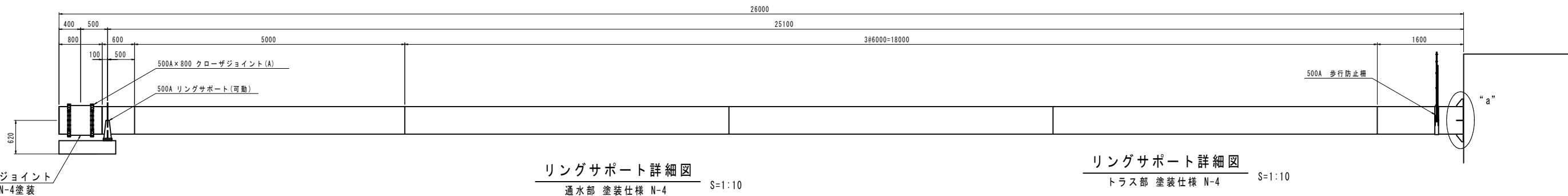
側面図

1径間 (A1側) S=1:40
通水部 塗装仕様 N-4



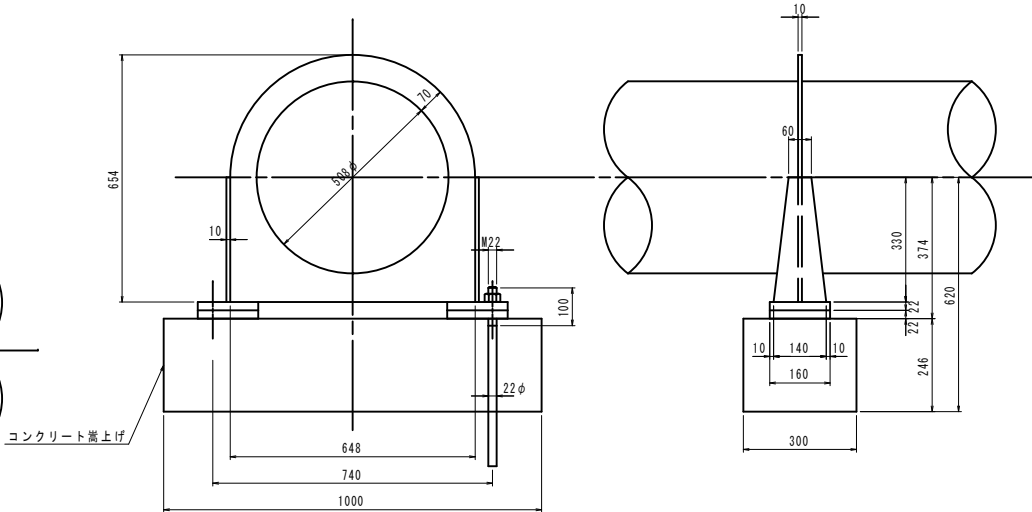
側面図

3径間 (A2側) S=1:40
通水部 塗装仕様 N-4



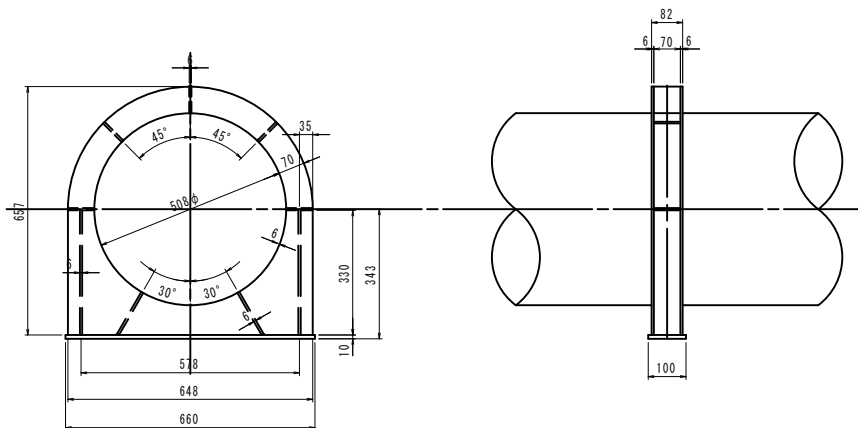
リングサポート詳細図

通水部 塗装仕様 N-4 S=1:10



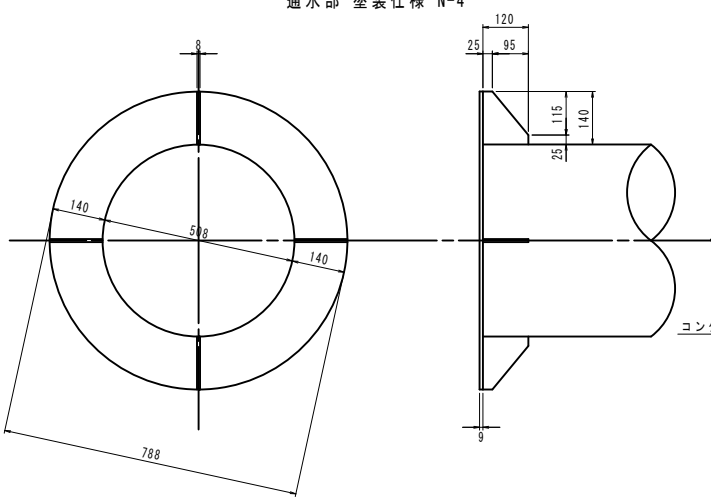
リングサポート詳細図

トラス部 塗装仕様 N-4 S=1:10



“a”部詳細

端部材 S=1:10
通水部 塗装仕様 N-4



塗装仕様 N-4

塗装仕様	塗料名	塗装回数	標準使用量 g/m2/回	塗装回数	目標膜厚 (μm)	塗装間隔
N-4	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗 又は変性ウレタン樹脂塗料下塗 (JIS K 5551 C種)	4	240	はけ ローラ	240	1日～10日
	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料中塗 (JIS K 5659)	1	160	はけ ローラ	30	
	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗 (JIS K 5659 1級)	1	130	はけ ローラ	25	1日～10日

塗装面積 (N-4)

部 位	計算式	長 さ	塗装面積
管 (トラス部)	$0.508 \times 3.14 \times 40.80$	40.80	65.08 m ²
管 (トラス部なし)	$0.508 \times 3.14 \times (93.144 - 40.80 - 0.80 \times 2)$	50.74	80.94 m ²

塗装面積 (N-4)

部 位	計算式	長 さ	塗装面積
端部材 円プレート	$(0.788^2 \times 2 - 0.508^2 \times 2) \times 3.14 / 4 \times 2$ $+ 0.788 \times 3.14 \times 0.009 \times 2$	0.788	0.61 m ²
端部材 プレート	$(0.025 + 0.12) \times 0.115 / 2 \times 8 \times 2$ $+ 0.025 \times 0.12 \times 8 \times 2$	0.140	0.18 m ²
合 計			0.79 m ²

塗装面積 (N-4)

部 位	計算式	長 さ	塗装面積
リングサポート (通水部) リング部	$\{(0.330 \times 0.648) + (0.324^2 \times 3.14 / 2) - 0.254^2 \times 3.14\} \times 4$	0.654	0.70 m ²
リングサポート (通水部) 両端部	$(0.06 + 0.14) \times 0.33 / 2 \times 4 \times 2$	0.330	0.26 m ²
リングサポート (通水部) 底板	$0.16 \times 0.16 \times 4$	0.160	0.10 m ²
リングサポート (トラス部) リング部	$\{(0.330 \times 0.648) + (0.324^2 \times 3.14 / 2) - 0.254^2 \times 3.14\} \times 8$	0.657	1.41 m ²
リングサポート (トラス部) 中間補剛材	$0.07 \times 0.07 \times 6 \times 2$	0.070	0.06 m ²
リングサポート (トラス部) 端補剛材	$0.07 \times 0.07 \times 4 \times 2$	0.070	0.04 m ²
リングサポート (トラス部) 垂直補剛材	$0.07 \times 0.33 \times 4$	0.330	0.09 m ²
リングサポート (トラス部) 底板	$0.1 \times 0.01 \times 4 + 0.66 \times 0.01 \times 4$	0.660	0.03 m ²
合 計			2.69 m ²

※リングサポート (トラス部) については、図面 6/9 側面図にて図示

注記)

- 1) 各寸法は点検結果および実測によるもの。施工の際は再度計測し、寸法を確認すること。
- 2) ケレン後、著しい腐食や損傷がみられた場合は、監督員と協議を行い、状況に応じて板厚計測等を行い、適切な補修を行った後に塗装を行うこと。
- 3) 塗装系については、通水部はN-4塗装系とし、通水部以外は、Rc-III 塗装系とする。
- 4) 塗膜に鉛が含まれているため、ケレン時に飛散防止対策を行い、ケレンがすは、適切に処分すること。
- 5) 歩行防止柵は、取外しを行いケレン・塗装を行うこと。その際、ボルトの腐食などが確認された場合は、取替えを行うこと。

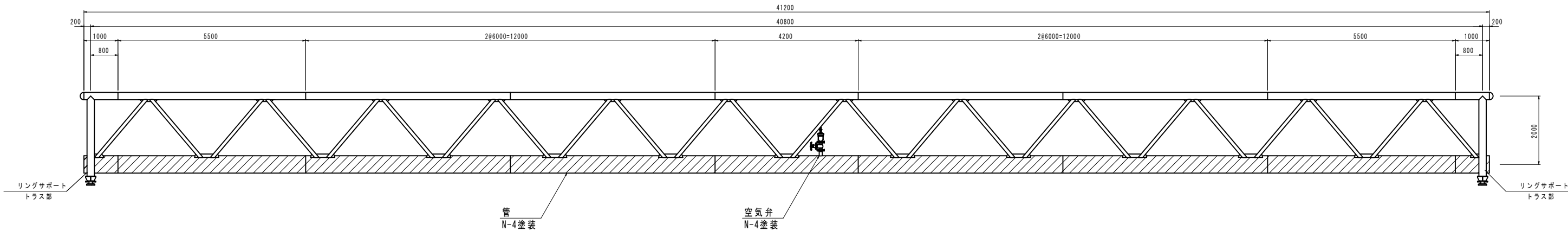
工事件名	(そ-13) 水管橋塗装改良 (塗替) 工事 (余フ)				
工事場所	甲府市大里町地内 (万才橋)				
図面名	塗替詳細図 (その2)	縮尺	図示	分割	5 / 9
甲府市上下水道局	管理番号	R8-そ-13	マイクNo.		

万才橋水管橋 塗替え詳細図

(その3)

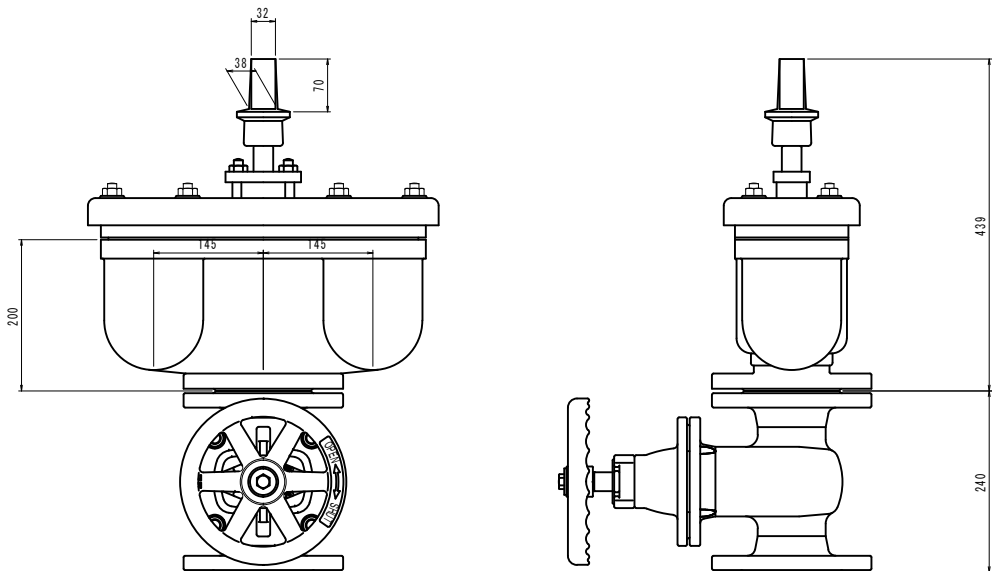
側面図

2径間 S=1:60
通水部 塗装仕様 N-4



断面図

50φ 双口空気弁 S=1:5
通水部 塗装仕様 N-4

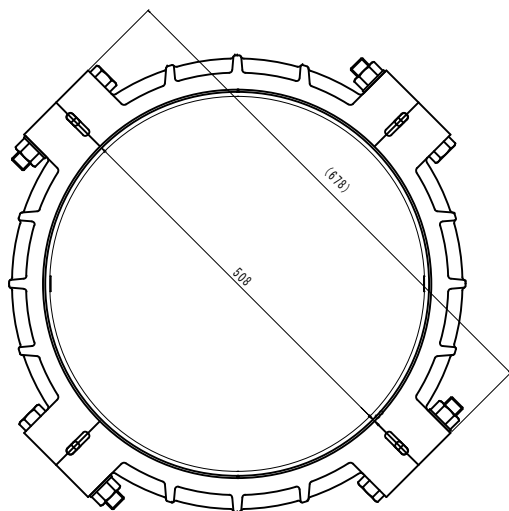


塗装面積 (N-4)

部 位	計 算 式	塗 装 面 積
空気弁 平面	別紙塗装面積計算書参照	0.11 m2
空気弁 正面 (1面あたり)	別紙塗装面積計算書参照	0.34 m2
空気弁 側面 (1面あたり)	別紙塗装面積計算書参照	0.24 m2
合 計		0.69 m2

断面図

クローザージョイント CL-A500 S=1:5
通水部 塗装仕様 N-4



塗装面積 (N-4)

部 位	計 算 式	塗 装 面 積
ジョイント 管	別紙塗装面積計算書参照	1.16 m2
ジョイント リング部 正面 (外側)	別紙塗装面積計算書参照	0.14 m2
ジョイント リング部 正面 (内側)	別紙塗装面積計算書参照	0.08 m2
ジョイント リング部 側面	別紙塗装面積計算書参照	0.19 m2
ジョイント 突起部	別紙塗装面積計算書参照	0.08 m2
計		1.65 m2
合 計	2基	3.30 m2

塗装仕様 N-4

塗装仕様	塗 料 名	塗装回数	標準使用量 g/m2/回	塗装回数	目標膜厚 (μm)	塗装間隔
N-4	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗 又は変性ウレタン樹脂塗料下塗 (JIS K 5551 C種)	4	240	はけ ローラ	240	1日～10日
	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗 (JIS K 5659)	1	160	はけ ローラ	30	
	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗 (JIS K 5659 1級)	1	130	はけ ローラ	25	1日～10日

注記)

- 1) 各寸法は点検結果および実測によるもの。施工の際は再度計測し、寸法を確認すること。
- 2) ケレン後、著しい腐食や損傷がみられた場合は、監督員と協議を行い、状況に応じて板厚計測等を行い、適切な補修を行った後に塗装を行うこと。
- 3) 塗装系については、通水部はN-4塗装系とし、通水部以外は、Rc-III塗装系とする。
- 4) 塗膜に鉛が含まれているため、ケレン時に飛散防止対策を行い、ケレンかすは、適切に処分すること。
- 5) 歩行防止柵は、取外しを行いケレン・塗装を行うこと。その際、ボルトの腐食などが確認された場合は、取替えを行うこと。

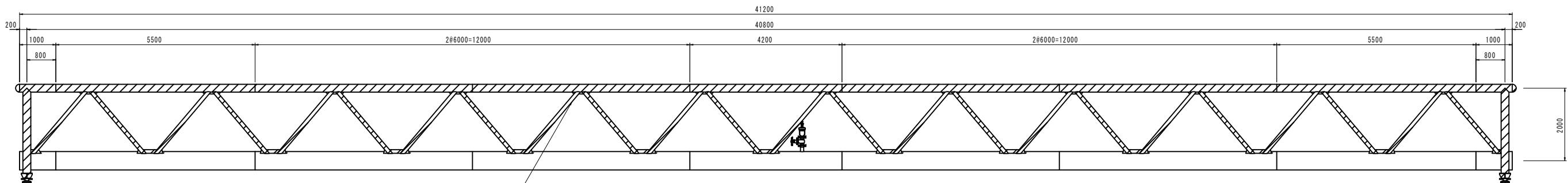
工事件名	(そ-13) 水管橋塗装改良 (塗替) 工事 (余フ)				
工事場所	甲府市大里町地内 (万才橋)				
図 面 名	塗替詳細図 (その3)	縮尺	図示	分割	6 / 9
甲府市上下水道局	管理番号	R8-そ-13	マイクNo.		

万才橋水管橋 塗替詳細図

(その4)

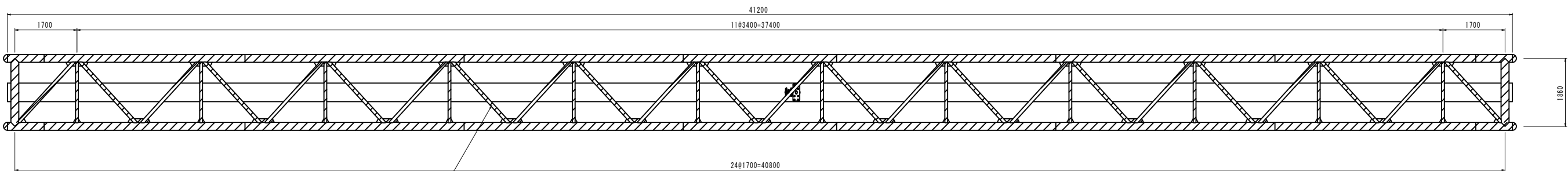
側面図

2径間 S=1:60
トラス部 塗装仕様 Rc-III



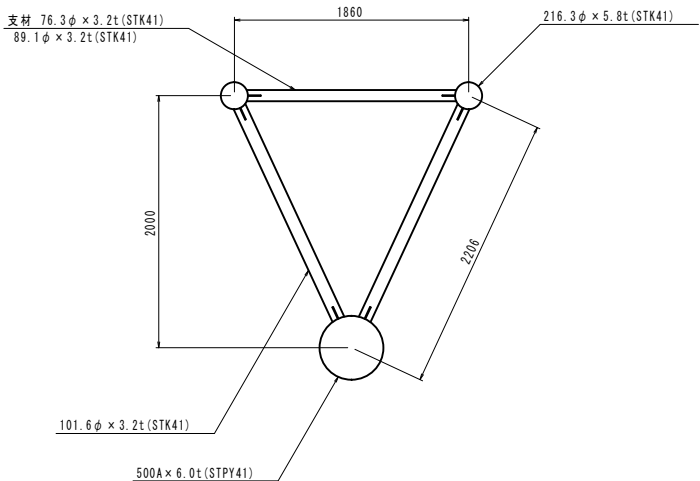
平面図

2径間 S=1:60
トラス部 塗装仕様 Rc-III



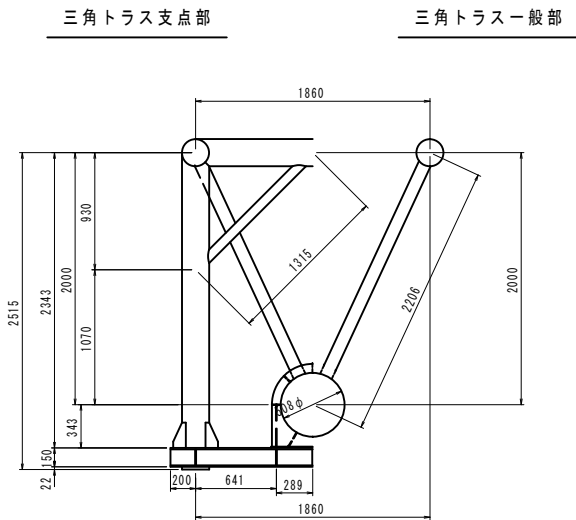
断面図

2径間 S=1:30
トラス部 塗装仕様 Rc-III



断面図

2径間 S=1:30
トラス部 塗装仕様 Rc-III



塗装面積 (Rc-III)

部 位	計算式	長 さ	塗装面積
トラス 管 1	$0.2163 \times 3.14 \times 41.2 \times 2$	41.200	55.96 m ²
トラス 管 2	$0.2163 \times 3.14 \times 1.752 \times 2$	1.752	2.38 m ²
トラス 管 3	$0.2163 \times 3.14 \times 2.289 \times 4$	2.289	6.22 m ²
トラス 管 4	$0.0763 \times 3.14 \times 1.644 \times 12$	1.644	4.73 m ²
トラス 管 5	$0.0763 \times 3.14 \times 1.009 \times 4$	1.009	0.97 m ²
トラス 管 6	$0.089 \times 3.14 \times 2.32 \times 24$	2.320	15.56 m ²
トラス 管 7	$0.1016 \times 3.14 \times 1.844 \times 48$	1.844	28.24 m ²
溶接キャップ	$0.2163 \times 2 \times 3.14 / 4 \times 4$	216.300	0.15 m ²
トラス プレート 1	$0.1 \times 0.606 \times 23 \times 2 \times 0.39$	0.606	1.09 m ²
トラス プレート 2	$0.1 \times 0.192 \times 12 \times 2 \times 0.30$	0.192	0.14 m ²
トラス プレート 3	$0.1 \times 0.200 \times 2 \times 2 \times 0.39$	0.200	0.03 m ²
トラス プレート 4	$0.1 \times 0.564 \times 24 \times 2 \times 0.44$	0.564	1.19 m ²
トラス プレート 5	$0.1 \times 0.71 \times 22 \times 2 \times 0.61$	0.710	1.91 m ²
トラス プレート 6	$0.1 \times 0.354 \times 4 \times 2 \times 0.55$	0.354	0.16 m ²
トラス プレート (基部)	$0.1 \times 0.2 \times 16 \times 2 \times 0.74$	0.200	0.47 m ²
計			119.20 m ²
トラス 上フランジ	$0.3 \times 2.26 \times 4 \times 0.82$	2.260	2.22 m ²
トラス 下フランジ	$0.2 \times 2.1 \times 2 \times 2$	2.100	1.68 m ²
トラス ウェブ	$0.126 \times 2.26 \times 4 \times 0.96$	2.260	1.09 m ²
トラス 端補剛材	$0.145 \times 0.126 \times 4 \times 2 \times 0.86$	0.126	0.13 m ²
トラス 中間補剛材	$0.095 \times 0.126 \times 6 \times 2$	0.126	0.14 m ²
計			5.26 m ²
合 計			124.46 m ²

※必要に応じネット率を乗じるものとする

Rc-III塗装系

塗装工程	塗 料 名	使用量 (g/m ²)	塗装間隔
素地調整	3 種		4時間以内
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日～10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日～10日
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	140	1日～10日
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	120	1日～10日

注記)

- 1) 各寸法は点検結果および実測によるもの。施工の際は再度計測し、寸法を確認すること。
- 2) ケレン後、著しい腐食や損傷がみられた場合は、監督員と協議を行い、状況に応じて板厚計測等を行い、適切な補修を行った後に塗装を行うこと。
- 3) 塗装系については、通水部はN-4塗装系とし、通水部以外は、Rc-III塗装系とする。
- 4) 塗膜に鉛が含まれているため、ケレン時に飛散防止対策を行い、ケレンかすは、適切に処分すること。
- 5) 歩行防止柵は、取外しを行いケレン・塗装を行うこと。その際、ボルトの腐食などが確認された場合は、取替えを行うこと。

工事件名	(そ-13) 水管橋塗装改良 (塗替) 工事 (余フ)				
工事場所	甲府市大里町地内 (万才橋)				
図 面 名	塗替詳細図 (その4)	縮尺	図示	分割	7 / 9
甲府市上下水道局	管理番号	R8-そ-13	マイクDNo.		

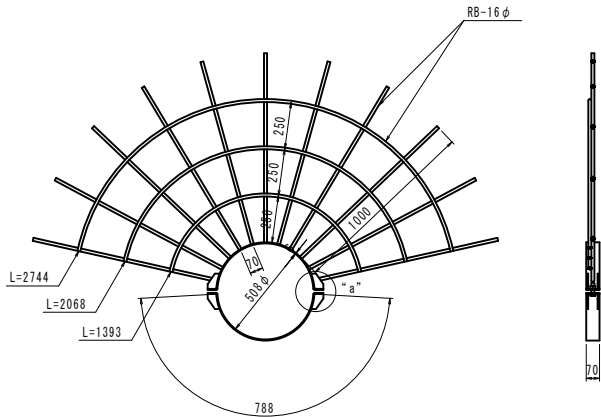
万才橋水管橋 塗替え詳細図

(その5)

歩行防止柵詳細図

塗装仕様 Rc-III

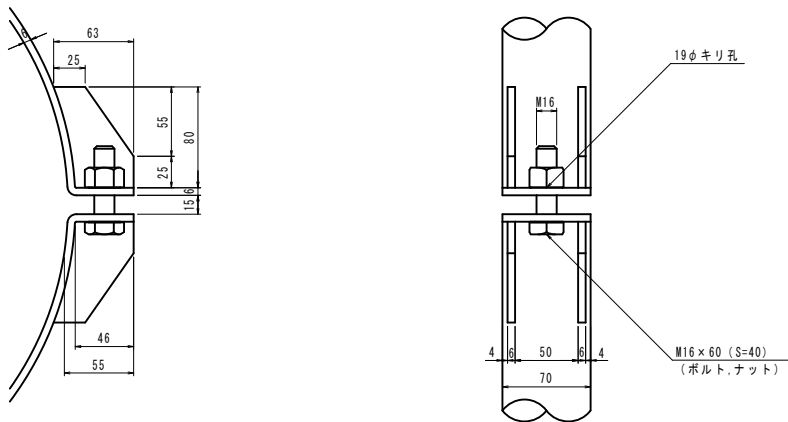
S=1:10



“a”部詳細

塗装仕様 Rc-III

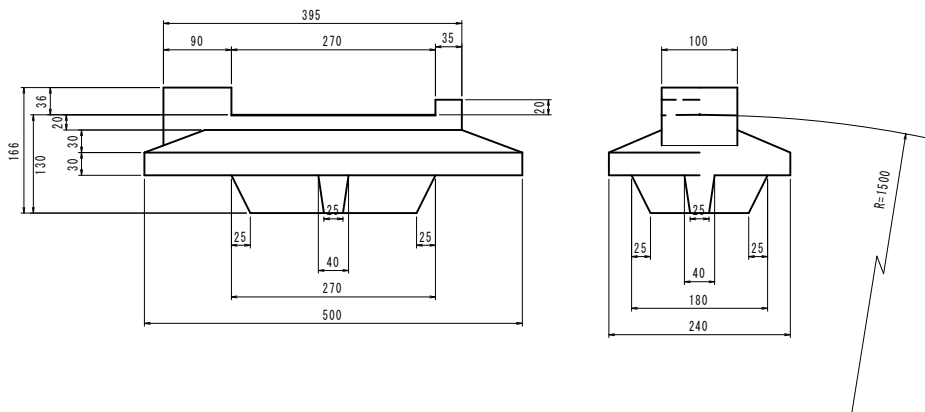
S=1:3



鉄道沓(ST-1)詳細図

塗装仕様 Rc-III

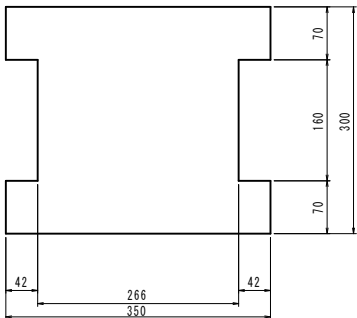
S=1:4



底板詳細図

塗装仕様 Rc-III

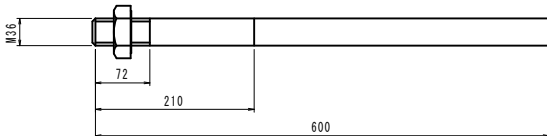
S=1:5



アンカーボルト, ナット

塗装仕様 Rc-III

S=1:5



Rc-III塗装系

塗装工程	塗料名	使用量(g/m2)	塗装間隔
素地調整	3種		4時間以内
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日～10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日～10日
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	140	1日～10日
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	120	1日～10日

塗装面積 (Rc-III)

部位	計算式	長さ	塗装面積
歩行防止柵 帯(曲部)	$0.07 \times 0.788 \times 4$	0.788	0.22 m2
歩行防止柵 帯(端部)	$0.07 \times 0.046 \times 8 \times 2$	0.046	0.05 m2
歩行防止柵 プレート	$\{(0.025 + 0.046) \times 0.055 / 2 + 0.046 \times 0.025\} \times 32$	0.080	0.10 m2
歩行防止柵 棒鋼	$0.016 \times 3.14 \times 1.000 \times 22$	1.000	1.11 m2
歩行防止柵 棒鋼(曲)1	$0.016 \times 3.14 \times 2.744 \times 2$	2.744	0.28 m2
歩行防止柵 棒鋼(曲)2	$0.016 \times 3.14 \times 2.068 \times 2$	2.068	0.21 m2
歩行防止柵 棒鋼(曲)3	$0.016 \times 3.14 \times 1.393 \times 2$	1.393	0.14 m2
合計			2.11 m2

※必要に応じネット率を乗じるものとする

塗装面積 (Rc-III)

部位	計算式	塗装面積
鉄道沓 上部 平面	別紙塗装面積計算参照	0.04 m2
鉄道沓 上部 正面	別紙塗装面積計算参照	0.02 m2
鉄道沓 上部 側面	別紙塗装面積計算参照	0.02 m2
計		0.08 m2
鉄道沓 円壁部 平面	別紙塗装面積計算参照	0.07 m2
鉄道沓 円壁部 正面	別紙塗装面積計算参照	0.06 m2
鉄道沓 円壁部 側面	別紙塗装面積計算参照	0.02 m2
計		0.15 m2
鉄道沓 底板 上面	別紙塗装面積計算参照	0.09 m2
鉄道沓 底板 下面	別紙塗装面積計算参照	0.04 m2
計		0.13 m2
合計	4基	1.44 m2

※必要に応じネット率を乗じるものとする

注記)

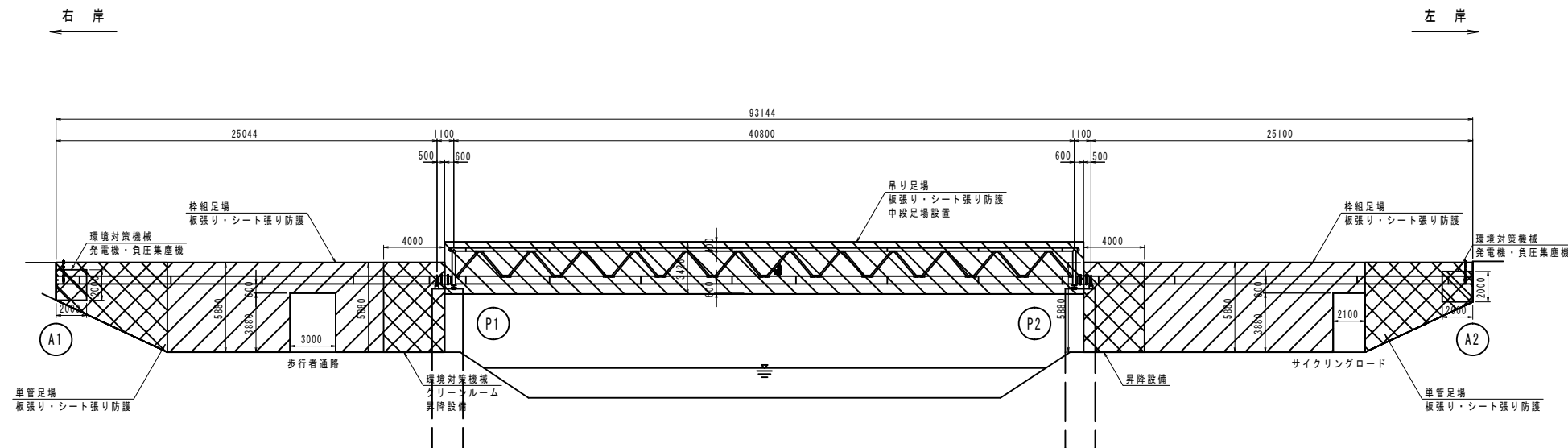
- 1) 各寸法は点検結果および実測によるもの。施工の際は再度計測し、寸法を確認すること。
- 2) ケレン後、著しい腐食や損傷がみられた場合は、監督員と協議を行い、状況に応じて板厚計測等を行い、適切な補修を行った後に塗装を行うこと。
- 3) 塗装系については、通水部はN-4塗装系とし、通水部以外は、Rc-III塗装系とする。
- 4) 塗膜に鉛が含まれているため、ケレン時に飛散防止対策を行い、ケレンかすは、適切に処分すること。
- 5) 歩行防止柵は、取外しを行いケレン・塗装を行うこと。その際、ボルトの腐食などが確認された場合は、取替えを行うこと。

工事件名	(そ-13) 水管橋塗装改良(塗替)工事(余フ)					
工事場所	甲府市大里町地内(万才橋)					
図面名	塗替詳細図(その5)	縮尺	図示	分割	8 / 9	
甲府市上下水道局	管理番号	R8-そ-13	マイクNo.			

万才橋水管橋 足場工計画図

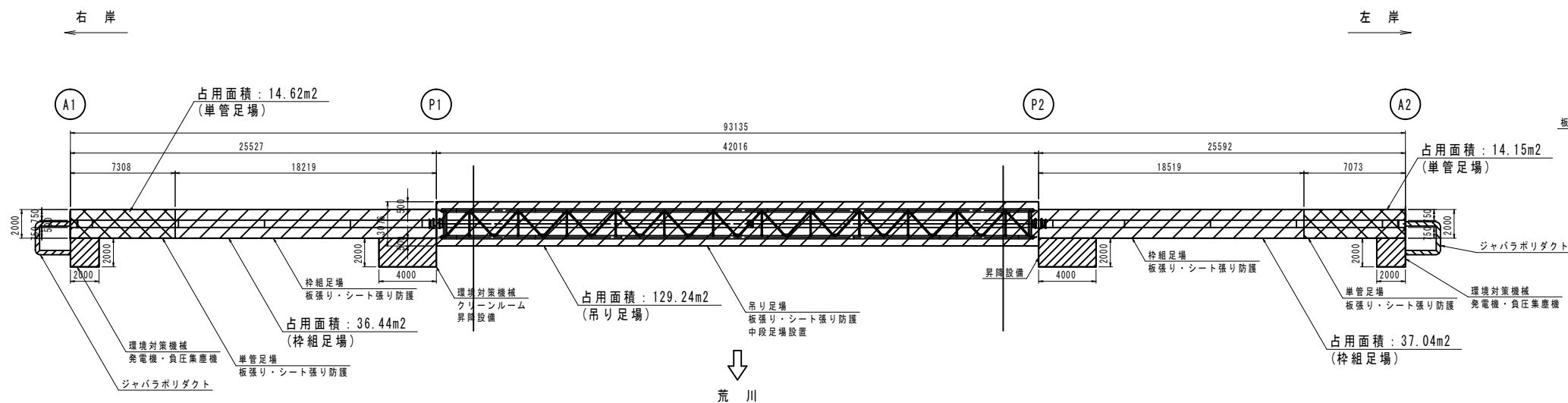
側面図

S=1:200



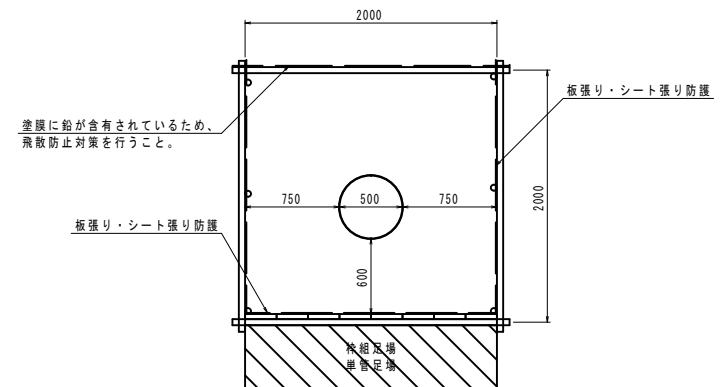
平面図

S=1:60



断面図

枠組足場・単管足場 S=1:30

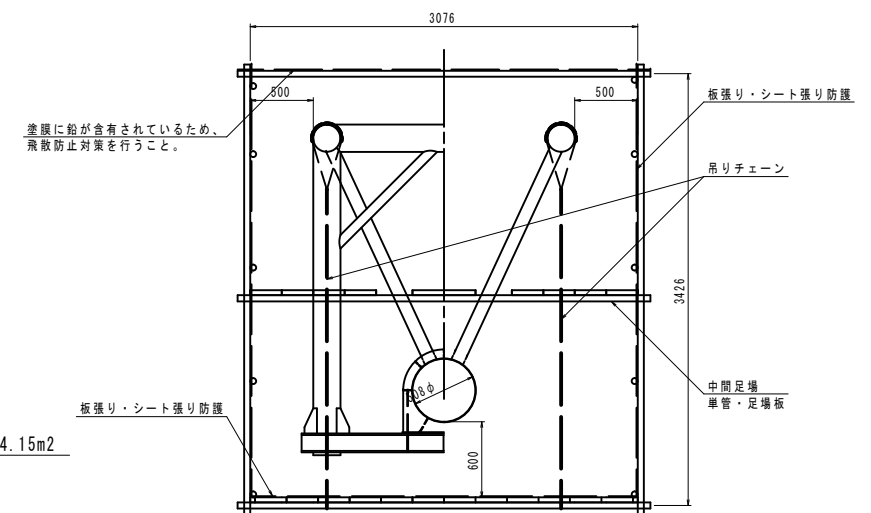


断面図

トラス部 吊り足場 S=1:30

三角トラス支点部

三角トラス一般部



足場工数量

名称	数量	摘要
防護足場(単管足場) 板張り・シート張り	7.308×3.880/2+7.073×3.880/2	27.90 掛m2
防護足場(吊り足場) 板張り・シート張り	42.016×3.076	129.24 m2 H=3.426
防護足場(枠組足場) 板張り・シート張り	(18.219×3.880-3.000×3.880) + (18.519×3.880-2.1×3.880)	122.76 掛m2 H=4.48 開口部あり

環境対策機械

名称	数量	摘要
発電機・負圧集塵機	2.00×2.00×2	8.00 掛m2 H=2.0 m 環境対策設備 2基
クリーンルーム	0.90×2.7	2.43 掛m2 H=2.0 m 環境対策設備
ジャバラポリダクト	7m×2箇所	14.0 m 適宜

注記

- 1) 中段足場の位置については適宜変更されたい。
- 2) 塗膜に鉛が含まれているため、ケレン時に飛散防止対策を行い、ケレンかすは、適切に処分すること。
- 3) 資機材の搬入にあたっては、各関係機関との協議を行い、必要な申請を行うこと。
- 4) 足場の開口部は、チューブライト等を使用し注意喚起を行うこと。

工事件名	(そ-13) 水管橋塗装改良(塗替)工事(余フ)				
工事場所	甲府市大里町地内(万才橋)				
図面名	足場工計画図	縮尺	図示	分割	9/9
甲府市上下水道局	管理番号	R8-そ-13	マイドNo.		